ＨＳＢＣオルタナティブ・バランス・ファンド

愛称:マルチアシスト

追加型投信／内外／資産複合／特殊型(絶対収益追求型)

償還交付運用報告書

第4期(償還日2024年3月28日)

作成対象期間(2023年4月11日～2024年3月28日)

第４期末(2024年３月28日)	
償還価額	9,461円27銭
純資産総額	26百万円
第４期	
騰落率	0.3%
分配金(税込み)合計	－円

(注) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

▶当ファンドは、信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、弊社のHP（ホームページ）で下記の手順でご覧いただけます。

＜閲覧方法＞

右記URLにアクセス⇒HP上部の「基準価額」を選択⇒当ファンドのファンド名称を選択⇒「運用報告書」を選択⇒「交付運用報告書・運用報告書（全体版）」の一覧の最新の運用報告書（全体版）を選択すると、当該運用報告書（全体版）を閲覧･ダウンロードすることができます。

※将来、HPの見直し等により、閲覧方法が変更になる場合があります。

▶運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「ＨＳＢＣオルタナティブ・バランス・ファンド」は、この度、信託約款の規定に基づき、繰上償還の運びとなりました。

当ファンドは、主として、ルクセンブルク籍証券投資法人の投資信託証券（円建て／ヘッジありクラス）への投資を通じて、世界（日本を含む）の株式、債券、通貨の指数先物等に実質的に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指す投資方針に沿い、運用を行いました。

ここに運用経過と償還内容をご報告いたしますとともに、これまでのご愛顧に対し厚くお礼申し上げます。

ＨＳＢＣアセットマネジメント株式会社

東京都中央区日本橋3-11-1　ＨＳＢＣビルディング

≪お問い合わせ先（投信営業本部）≫

電話番号：03-3548-5690

(営業日の午前9時～午後5時)

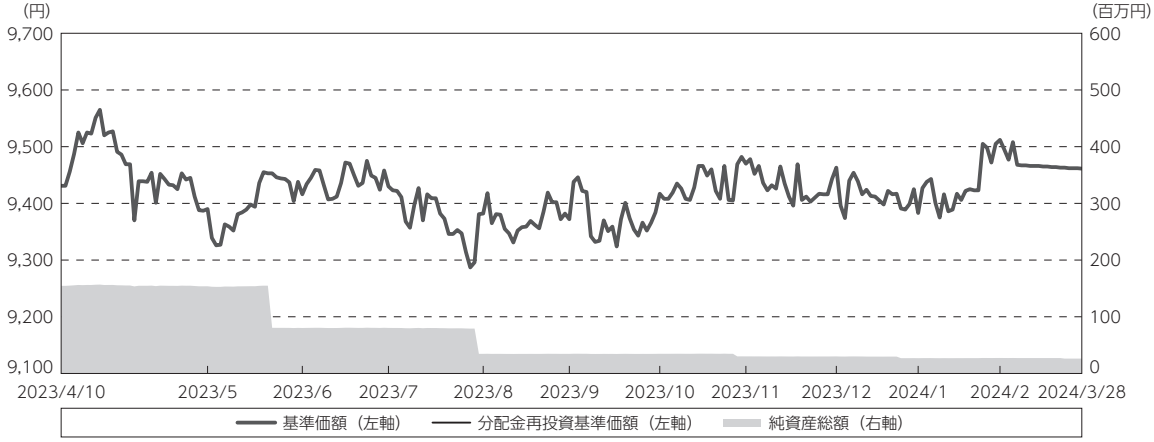
ホームページ：www.assetmanagement.hsbc.co.jp

HSBC Asset Management

◆運用経過◆

基準価額等の推移について

（第4期：2023年4月11日～2024年3月28日）



期　　首：9,431円
期末（償還日）：9,461円27銭（既払分配金（税込み）：－円）
騰　落　率：　0.3%　　（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）分配金再投資基準価額は、期首（2023年4月10日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
（注）当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

基準価額の主な変動要因

＜上昇要因＞

ファクター別ではキャリーとモメンタムがプラスとなりました。

資産クラス別は以下の通りです。

◆株式（国別）

主としてイタリア、ポーランドの買建て（ロング）のポジション、フランス、スウェーデン、タイの売建て（ショート）のポジションが基準価額にプラスに寄与しました。

◆株式（セクター別）

主として米国の公益事業セクター、欧州の食品・飲料セクターの売建てのポジションが基準価額にプラスに働きました。

◆債券

主としてスイスの買建てのポジション、英国、ノルウェーの売建てのポジションが基準価額にプラスに寄与しました。

◆通貨

主として英ポンド、コロンビアペソ、ハンガリーフォリントの買建てのポジション、韓国ウォン、インドネシアルピア、ニュージーランドドルの売建てのポジションが基準価額にプラスに働きました。

＜下落要因＞

ファクター別ではバリューがマイナスとなりました。

資産クラス別は以下の通りです。

◆株式（国別）

主として英国、南アフリカ、メキシコの買建てのポジション、日本の売建てのポジションが基準価額にマイナスに寄与しました。

◆株式（セクター別）

主として欧州の通信サービスセクター、米国のコミュニケーション・サービスセクターの買建てのポジション、欧州のメディアセクターの売建てのポジションが基準価額にマイナスに働きました。

◆債券

主としてオーストラリア、カナダ、米国の買建てのポジション、ドイツ、スウェーデンの売建てのポジションが基準価額にマイナスに寄与しました。

◆通貨

主としてチリペソ、ノルウェークローネの買建てのポジション、メキシコペソ、カナダドルの売建てのポジションが基準価額にマイナスに働きました。

1万口当たりの費用明細

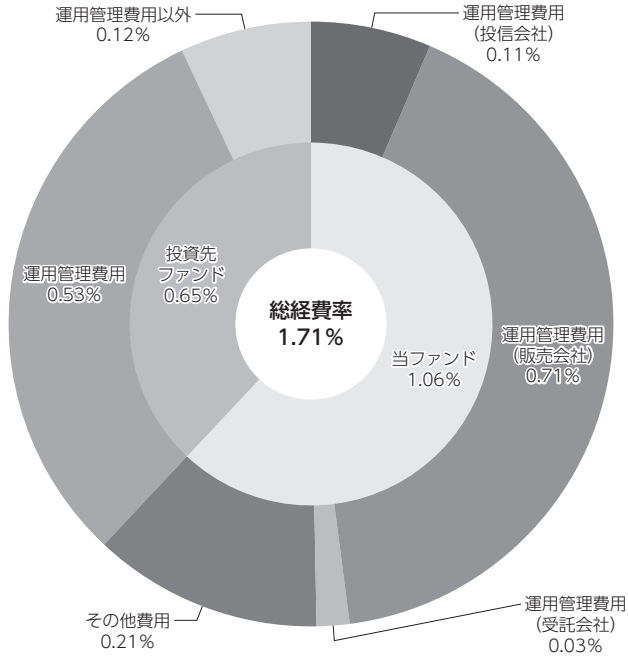
項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	78	0.828	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(10)	(0.106)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(65)	(0.690)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(3)	(0.032)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	19	0.205	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(5)	(0.055)	監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	(14)	(0.150)	振替制度にかかる費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出にかかる費用等
合計	97	1.033	
期中の平均基準価額は、9,429円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。
(注) 委託者は2023年4月1日から2024年3月28日までの期間に、管理会社より1,248.40米ドルのマネジメントフィーを受領いたしました。

（参考情報）

◯総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.71％です。



（単位：％）

総経費率（①＋②＋③）	**1.71**
①当ファンドの費用の比率	1.06
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.53
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.12

（注）当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注）当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注）当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注）ファンド名に「ＨＳＢＣ」を含まない投資先ファンドの費用については、②に計上しています。ファンド名に「ＨＳＢＣ」を含む投資先ファンドの費用は②、③に区分して計上していますが、②、③の区分なく費用が公表されている場合は②に計上しています。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について　(2018年4月10日～2024年3月28日)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
(注) 当ファンドの設定日は2020年3月24日です。

	2020年３月24日 設定日	2021年４月12日 決算日	2022年４月11日 決算日	2023年４月10日 決算日	2024年３月28日 償還日
基準価額　(円)	10,000	9,795	9,640	9,431	9,461.27
期間分配金合計(税込み)　(円)	－	0	0	0	－
分配金再投資基準価額騰落率　(%)	－	△ 2.1	△ 1.6	△ 2.2	0.3
純資産総額　(百万円)	1	180	195	154	26

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2021年4月12日の騰落率は設定当初との比較です。
(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

投資環境について

世界の株式市場については、先進国市場（MSCIワールド・インデックス、現地通貨ベース）が当期を通じて26.9%上昇しました。期初から2023年7月末にかけては米欧における利上げ停止観測から上昇傾向となったものの、米国の長期金利の上昇や中東情勢の緊迫化に伴い10月下旬にかけては途中上下動を見せながらも下落傾向となりました。その後、主要先進国におけるインフレの落ち着き、米国の利下げ観測などを背景に期末にかけては上昇基調に転じました。新興国市場（MSCIエマージング・マーケット・インデックス、現地通貨ベース）は当期を通じて10.3%上昇しました。期初から2023年5月末にかけては一進一退の動きとなったのち、7月末にかけては中国の景気対策への期待や新興国におけるインフレ鈍化により途中大きく上下に振れながらも上昇傾向となりました。その後、中国景気を巡る不透明感や中東情勢の緊迫化に伴い10月下旬にかけては途中上下動を見せながらも下落傾向に転じたものの、一部新興国における金融緩和、中国の景気支援策、米国の利下げ観測などを背景に期末にかけては上昇基調となりました。

世界の国債市場については、先進国市場（FTSE世界国債インデックス、現地通貨ベース）は当期を通じて1.5%下落しました。期初から2023年10月中旬にかけては米欧の根強いインフレ、米国の長期金利の上昇により途中上下動を見せながらも下落傾向となったのち、米欧における早期利下げ観測から12月下旬にかけては上昇傾向に転じました。期末にかけては米欧の金融当局による早期利下げ期待をけん制する発言などに伴い軟調な展開となりました。新興国市場（JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド、現地通貨ベース）は当期を通じて7.5%上昇しました。期初から2023年8月上旬にかけては新興国におけるインフレ鈍化に伴い上昇傾向となったものの、米国の長期金利の上昇による米ドル高進行から10月上旬にかけては軟調な動きとなりました。その後、一部新興国における金融緩和や米国の利下げ観測などを背景に期末にかけては上昇基調に転じました。

（注）原則として、指数の騰落率は期首・期末の前営業日の数値をもとに算出しています。

ポートフォリオについて

資産クラス別では、株式においては主にイタリア、英国を買建てのポジションに、カナダ、オーストラリアを売建てのポジションに維持しました。債券に関しては、主に韓国、カナダを買建てのポジションに、ドイツ、ノルウェーを売建てのポジションに維持しました。通貨では、主にハンガリーフォリント、コロンビアペソを買建てのポジションに、スイスフラン、韓国ウォンを売建てのポジションに維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

◆お知らせ◆

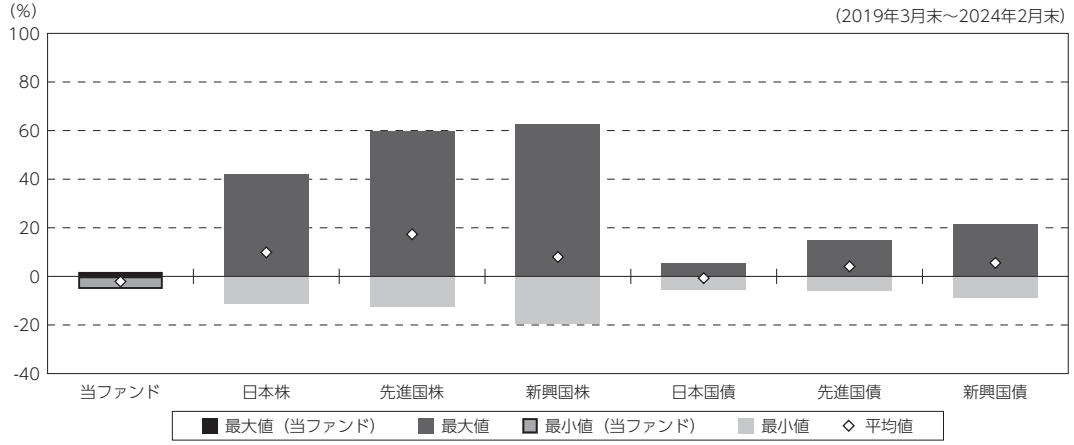
当ファンドは、受益権口数が投資信託約款の繰上償還条項に定める口数を下回っており、運用を継続するよりも繰上償還することが受益者の皆さまの利益に資すると判断し、投資信託約款の規定に基づき、2024年3月28日をもって信託を終了いたしました。

受益者の皆様のご愛顧に心より御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

◆当ファンドの概要◆

商品分類	追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）
信託期間	2020年3月24日～2024年3月28日（当初2030年4月10日）
運用方針	世界（日本を含む）の株式、債券、通貨の指数先物等に実質的に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要投資対象	主として、ルクセンブルク籍証券投資法人「ＨＳＢＣグローバル・インベストメント・ファンド－マルチアセット・スタイルファクターズ」（「ＨＳＢＣ ＧＩＦ マルチアセット」）に投資します。また、「ＨＳＢＣグローバル・インベストメント・ファンド－ユーロ・ボンド」にも投資します。
運用方法	主として世界の株式、債券、通貨の指数先物等に投資します。 －運用にあたっては、バリュー、モメンタム、キャリーの3つの市場収益特性（スタイルファクター）に注目し、資産の買建て（ロング）および売建て（ショート）を行う複数のロング・ショート戦略を用いて運用を行うことにより、特定の市場に左右されにくい絶対収益を追求する投資信託証券（円建て／ヘッジありクラス）に投資します。 －欧州の投資適格債券等を投資対象とする投資信託証券（円建て／ヘッジありクラス）にも投資します。当該投資信託証券の組入れは低位とします。 為替変動リスクの低減を図ります。 －投資する投資信託証券（円建て／ヘッジありクラス）において、実質的な通貨配分にかかわらず、原則として当該クラスの純資産額をユーロ換算した額とほぼ同額程度のユーロ売り円買いの為替取引を行います。
分配方針	年1回の決算時（毎年4月10日、休業日の場合は翌営業日）に、以下の方針に基づき、分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②分配金額は、委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。 ③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

◆（参考情報）代表的な資産クラスとの騰落率の比較◆



（単位：%）

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	1.8	42.1	59.8	62.7	5.4	14.8	21.5
最小値	△ 5.2	△ 11.4	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	△ 2.1	9.9	17.3	8.0	△ 0.7	4.1	5.6

（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注）2019年3月から2024年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2021年3月以降の年間騰落率を用いております。
（注）上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
（注）当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》
日 本 株：東証株価指数（TOPIX、配当込み）
先進国株：MSCI － KOKUSAIインデックス（配当込み、円ベース）
新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債：NOMURA － BPI国債
先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

◆当ファンドのデータ◆

（2024年3月28日現在）

当ファンドの組入資産の内容

2024年3月28日現在、有価証券等の組入れはございません。

○純資産等

項　　目	第４期末（償還日） 2024年３月28日
純資産総額	26,232,528円
受益権総口数	27,726,212口
１万口当たり償還価額	9,461円27銭

（注）期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は136,147,485円です。

◆指数に関して◆

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社ＪＰＸ総研又は株式会社ＪＰＸ総研の関連会社に帰属します。

○MSCI － KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）
MSCI － KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA － BPI国債
NOMURA － BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA － BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)
JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス － エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス － エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。